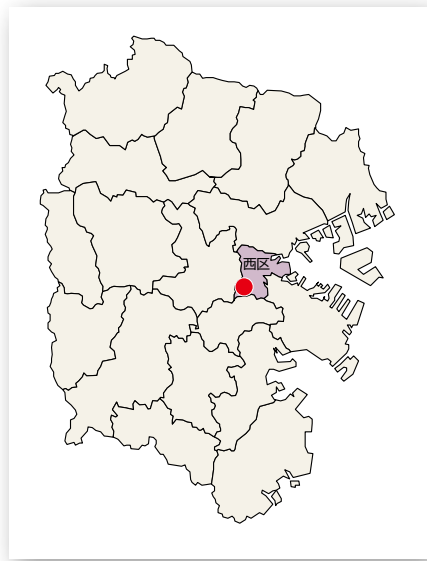
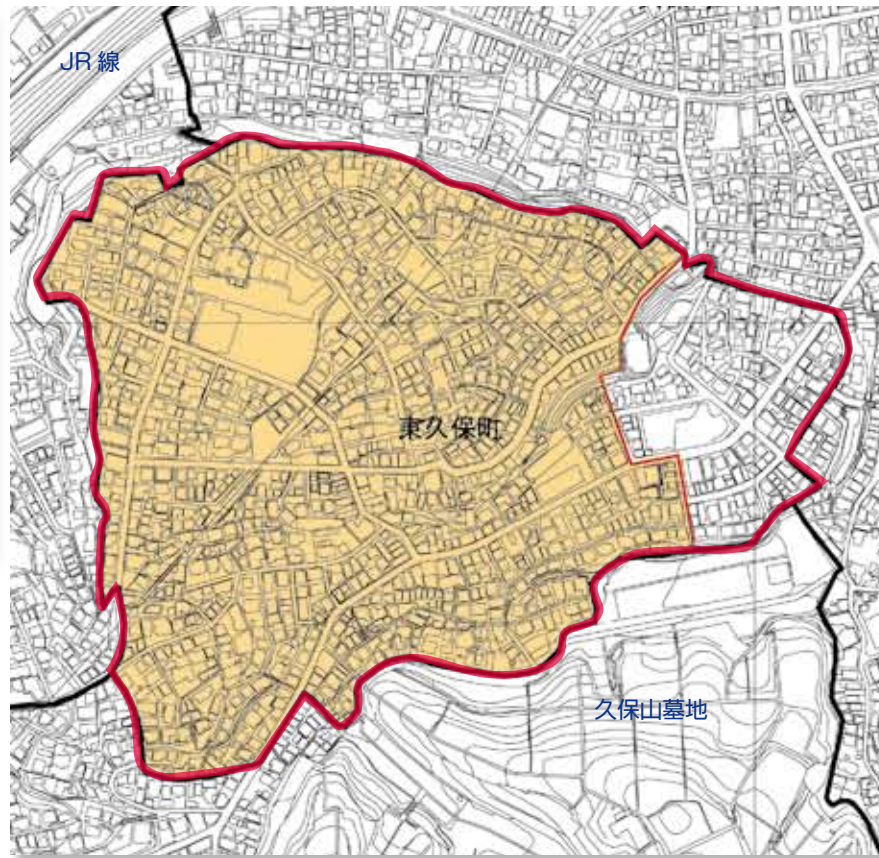


3. 東久保町地区

●位置図



●区域図



●地域特性

丘の上の見晴らしのよい住宅地であるが、斜面地や狭い坂、階段が多い。また狭い道路も多く、日常生活に支障があったり、災害時の円滑な避難・消火活動が困難と思われる地域がある。高齢化の進んだ地域であるため、買い物や通院での急坂の上り下りに苦労することも多い。古い住宅やアパートも多いが、敷地が狭く建て替えも難しい一方、空家も目立つ。
また、地区内には公園・広場が少なく、現在は街区公園が1ヶ所あるのみとなっている。

いえ・みち まち 改善事業対象地域
協議会エリア

●地区諸元

協議会名	東久保町まちづくり協議会
協議会エリア面積	20.4ha
人口	約3,600人（H17国勢調査結果より集計・推計）
組織体制・メンバー構成の概要	役員 会長1名 副会長2名 他12名 推進委員 45名（各町内会毎 15名） 防災まちづくり計画の実現のため役員会のほかに下記の4部会が、ほぼ月1回のペースで活動している。 いえ部会（建物の不燃化や耐震化に向けた取り組み、耐震イベントの実施など） みち部会（災害時の避難路の整備、行き止まり道路の避難路確保など） まち部会（小広場の整備や既存公園の改善、いっとき避難場所の検討など） ぼうさい部会（災害時の行動マニュアルの作成、自主防災組織の検討など）
プラン名	東久保町 防災まちづくり計画

●経緯

H15.12	第1回勉強会（東久保町のまち・ひとについて）
H16.2	まちづくり瓦版第1号発行
H16.3	まち歩きの実施
H16.12～17.3	協議会設立準備会の開催
H17.7	東久保町まちづくり協議会設立
H17.8	夢まちづくりニュース第1号発行
H17.10	地域課題についてのアンケート実施、グループ登録
H18.3	アンケートについて結果公表 まち歩き（魅力を発見しよう）
H18.8～18.9	3町内別まちづくりワークショップの開催
H18.9	起震車体験イベントの実施
H18.10	地域まちづくり組織として認定
H18.10～	防災まちづくり計画の検討
H19.11	プラン説明会、検討会の実施
H19.12	臨時総会において、防災まちづくり計画の承認
H20.4	住宅市街地総合整備事業に着手 地域まちづくりプランとして認定
H20.4	いえ部会、みち部会、まち部会、ぼうさい部会設置
H20.11	耐震講習会の実施
H21.9～22.2	地域まちづくり推進条例に基づく事業費助成の申請・整備
H22.3	防災の手引き・防災マップの作成



「夢やさい」で財源確保。
安心・安全のまちづくりを、創意・工夫で実現する

活動内容（活動成果）

- 勉強会のときに「まちづくり瓦版」を5号発行、まちづくり協議会設立後、「夢まちづくりニュース」を発行している。
- 計画づくりにあたっては、アンケートを全戸配布により実施するなど、地域への普及活動も行っている。
- 「防災まちづくり計画」に基づき、住宅の耐震化を目的とした耐震イベントを実施し、また、行き止まり箇所の緊急時の避難について地権者と協議し了解を得るなど、徐々に計画を進めている。
- 危険な崖地に注意喚起の看板を設置し、会館に協議会の周知のための掲示板を設置した。
- スクールゾーンとなっている道路の歩道部分のカラー舗装が、土木事務所との協議で実現した。

活動の中の工夫点

- 戸塚区の農家の方と契約して、朝採りの新鮮野菜を会館などで販売する「夢やさい」により、まちづくり活動のための自主財源の確保を行っています。



「夢やさい」の販売



平成19年臨時総会にて防災まちづくり計画が承認される



がけの注意看板



事業費助成で整備したかまどベンチ（上）と雨水貯留タンク（左）



協議会掲示板



地区の様子（狭い坂、階段）

東久保町 防災まちづくり計画

「夢やさい」で財源確保。
安心・安全のまちづくりを、創意・工夫で実現する

計画図

計画の目標・方針

■ 理念

- ① 地域住民が主役となるまちづくり
- ② 多様な世代の人たちが安心して快適に住み続けられるまちづくり
- ③ 災害に強いまちづくり
- ④ 未来の夢を育むまちづくり

（「東久保町防災まちづくり計画」より）

計画内容の概要

■ 「予防」防災と「事後」防災

この計画は、防災まちづくりには「予防」防災と「事後」防災の二つの対策が必要であるという視点で立てられている。「予防」防災は、被害を最小限に抑えるための取り組みで、避難や救急活動を円滑に行うための道路空間整備や防災性能を有するオープンスペース整備、建物の不燃化など、防災まちづくりで基本的に取り組みされるものである。

一方、「事後」防災は、災害が発生した後の二次災害を防ぐもので、災害発生後の避難路確保や防災組織との連携などがある。

Topics

東久保町夢まちづくり協議会の「夢」は住民の立場から安全で住みよいまちづくりを夢をこめて進めるために名づけられました。「夢」を大事にしながら、さまざまなアイデアを出しつつまちづくりを進めています。

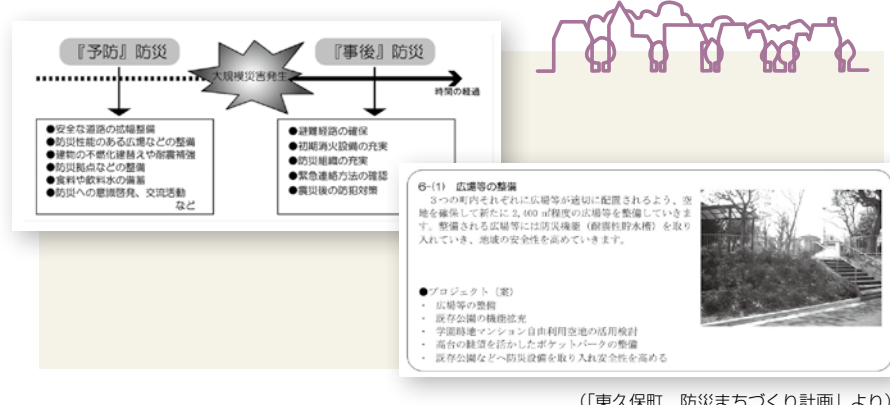
■ 目標

いえに関わる防災：燃えにくく倒れにくい建物への建替えや不燃化・耐震化を働きかけ、安全・安心な家づくりを目指します。

みちに関わる防災：車・自転車・歩行者、みんなが利用しやすく、安全に避難できるみちづくりを目指します。

まちに関わる防災：地域の皆さんが、元気に明るく、楽しく住み続けられる、誰にでも優しいまちづくりを目指します。

（「東久保町 防災まちづくり計画」より）



■ 夢を育て、夢を実現するまちづくり

防災まちづくりは緊急性が高く具体的に実現しなければならないものではあるが、それだけではなく、子どもや孫の世代のための将来のまちづくりも重要であるという考え方に立っている。

■ 「事後」防災の項目

1-(1) 自主的な避難方法のルール化

災害時に混乱を招かずいっとき避難場所等に安全に移動できるように、事前に身近な避難場所の充実を検討するとともに、避難方法の地域ルールを決め、避難マップの作成・配付により周知を図ります。

● 身近な避難場所の充実に向けた考え方(案)

- いっとき避難場所の指定
- 三町内ごとに「いっとき避難場所」を決め、

段階的な避難誘導を図ります。

〈防災「準」拠点の指定〉

・東久保町地区に「防災「準」拠点」として「東久保町会館」「池ノ上公園」を位置づけ、地域防災拠点との連携体制を構築していきます。

● プロジェクト(案)

- 身近な避難場所の充実に向けた検討
- 避難路の安全点検(現地踏査により、危険なものをチェックし日頃から安全性を高

めておきます)

- 避難誘導施設の設置(避難誘導灯や避難誘導放送設備など)
- 避難ルート、避難マップの作成・配付

2-(1) 防災組織の充実

2-(2) 緊急連絡方法の確認

2-(3) 震災後の防犯対策

3-(1) 自主財源の確保(夢やさい販売事業の継続)

（「東久保町 防災まちづくり計画」より）